

竹原市収受
竹 第 号
27.9.-1
処理期限 月 日
分類記号 保存年限

資料様式第3号

議 長	副議長	局 長	局長補佐	次 長	係 長	局 員
						

平成 27 年 9 月 1 日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 竹橋 和彦






視察・調査場 所	研究研修 福岡県福岡市博多区博多東1-16-14リファレンス駅東ビル
期 日	平成 27 年 7 月 27 日 ~ 平成 27 年 7 月 28 日
経 費	61,142 円
参加者氏名	竹橋 和彦・北元 豊・井上美津子・山元 経穂
視察・調査的 目	地方議員研究会セミナー研修
内 容 (視察先の 現状,竹原 市との比較 等)	<p>地域活性化・地域の課題解決</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域再生・地域活性化 2 地方再生と公共人材の課題 3 地域自治組織にみる自主自立 4 市民参画・市民活動 <p>行政評価&地域での課題の見える化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 構造的課題に対する改革 2 行政評価から事業仕分け 3 事業仕分け 4 地域課題の見える化
効果・成果 等	<p>地域に何を再生し、何を必要とされ、何を活性化させるのか。それには内発的な発展つまり自分たちのお金で好循環させ、自発的にそこに住んでいる人が住み続けたいと思う持続可能な地域づくりであり、人材の育成が必要である。</p> <p>行政評価は政策を評価するのではなく、施策を評価するものであり、行政評価は自己評価で行政による行政評価であって市民の評価でなく、市民目線の評価がされていない。</p>

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

竹原市収受	
竹 第 号	
27.10.28	
処理期限	月 日
分類記号	保存年限

資料様式第3号

議 長	副議長	局 長	局長補佐	次 長	係 長	局 員
						

平成 27 年 10 月 27 日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 竹橋 和彦



視察・調査場	広島県 広島市 南区金屋町1-7 ワークピア広島
期 日	平成 27 年 10 月 20 日 ~ 平成 27 年 10 月 20 日
経 費	33,560 円
参加者氏名	竹橋 和彦
視察・調査目的	元武雄市長 樋渡 啓祐氏 特別講演 地方創生、地域活性化に向けて(基礎編・応用編)
内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	地方創生、地域活性化に向けて(基礎編) ・武雄市の取り組み・Facebookを用いることで何が起きたか ・自治体経営の改革と情報発信・これからの地方議員に向けて 地方創生、地域活性化に向けて(応用編) ・100万人の来る図書館 ・自治体競争を生き抜く勘所 ・武雄市での教育改革 ・ふるさと納税制度の活用方法
効果・成果等	武雄市での元市長の取り組みを受講し、竹原市と対比し、改革の取り組み、考え方等を学び、これからの議員活動に活かしていきたいと痛感いたしました。

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

竹原市収受	
竹	第
号	
28.2.2	
処理期限	月 日
分類記号	保存年数

局長	副局長	局長	副局長	次長	係長	局員

資料様式第3号

平成 28 年 2 月 2 日

議員(視察・調査・研修)結果報告書



議員氏名 竹橋 和彦



視察・調査場	広島県 広島市 広島市役所 広島市議会棟
期 日	平成 27 年 12 月 18 日 ~ 平成 27 年 12 月 18 日
経 費	3,670 円
参加者氏名	竹橋 和彦
視察・調査的目	妊娠・出産包括支援事業
内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	「産前・産後サポート」「宿泊型ケア」「デイケア」「産後ヘルパー」4事業の内容について。 利用条件について。 事業費について。 事業に至るまでの背景について。 利用料・利用制限について。
効果・成果等	国が進める「妊娠・出産包括支援事業」を県内初であり、原則産後4か月以内に民生委員が訪問する「こんにちは赤ちゃん事業」を推進、出産を挟んで行政サポートサービスが無かったため、相談に訪れた母親にアンケートを実施し、その結果を集計し、必要な支援として、新事業を始めた。 その背景には、少子化対策に結び付ける支援の一つとも伺える。

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

竹原市収受	
竹第号	
28. 2. 26	
処理期限	月 日
分類記号	保存年限

議長	局長	副局長	課長	副課長	局員
					

資料様式第3号

平成 28 年 2 月 26 日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 竹橋 和彦



視察・調査場	福岡県福岡市博多区リファレンス東駅ビル
期 日	平成28年1月27日 ~ 平成28年1月28日
経 費	91,542 円
参加者氏名	竹橋 和彦
視察・調査的目	地方議員研究会セミナー 人口減少における地方再生・地方自治体制度と自治体財政の講座を受講し、今後の議員活動や一般質問に生かしたい。
内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	地方財政制度と自治体財政 <ul style="list-style-type: none"> ・マクロ観点からみた地方財政の機能 ・国と地方との財政関係 ・平成27年度地方財政対策 ・平成27年度地方財源不足額の補てん ・臨時財政対策債 自治体の予算の見方 <ul style="list-style-type: none"> ・予算書の形 ・ソフト事業の財源構成 ・ハード事業の財政構成 ・予算は一般財源で決まる ・標準財政規模とは ・起債って何だ ・充当率と交付税参入 ・予算は事業の束で見る
効果・成果等	地方財政制度と自治体財政は2重構造をもち、前者は財源の確保と収支ノバランス、後者は自治権の確保と統治の観点また自治体財政の健全性を担保するため国の関与がある。臨時財政対策債を発行する、しないは自由しかし自由に使えるお金が減る。財政課題の指摘のポイントは有意義でした。予算書の形から始まり、予算は一般財源できまる。また、予算は一般財源でコントロールされる。一時借入金は限度額があり、起債できる場合が限定。事業シートの活用。公債費、繰出金、補助金等の着目点は今後の議員活動に大変参考となり、活かしていきたい。

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。